

授業改善等に関する報告書（2023年後期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2023 (後期) 生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
ゼミナール (論理的判断とコミュニケーション)	笠原 良太	次年度はフィールドワーク (合宿) を行い、受講生がさらに積極的に参加できるように設計とする。
ゼミナール (論理的判断とコミュニケーション)	作田 由衣子	2人とも、とても頑張りました。来年度も引き続き楽しく頑張っていきたいと思います。
ゼミナール (論理的判断とコミュニケーション)	塚原 拓馬	回答者が少数であったため、今後は積極的な回答を促していきたい。卒業論文作成の準備学習として一定の達成はできたと思われる。
ゼミナール (論理的判断とコミュニケーション)	田中 正浩	回答者数が3名であり、これをもって分析、評価をするのは難しいが、授業内容及び方法に一層の改善・工夫が必要であると考え。4年次での卒論作成に各自が主体的に対応できるようにゼミ (授業) の質を高めていきたい。
ゼミナール (論理的判断とコミュニケーション)	井上 陽童	おおむね積極的に取り組んでいる学生さんが多く、大変やりやすかった。見通しをもったゼミ運営がなかなかできず、反省ばかりである。来年度以降に活かしていきたい。
ゼミナール (論理的判断とコミュニケーション)	水野 いずみ	自ら考えながら、自主的に取り組み、仲間と共に成長していく様子が印象的でした。次年度のゼミナールに活かさせていただきます。
ゼミナール (論理的判断とコミュニケーション)	高橋 桂子	6名の皆さん、評価がないようですが、3年生なので、すべての授業、12年生同様、教員から指示がなくても評価するようにしましょう。(まあ、皆さんとは毎週ゼミでお会いしていますので、問題ありませんが)
ゼミナール (論理的判断とコミュニケーション)	島崎 あかね	ゼミナールでは、来年度の卒業論文の執筆に向け、各自の興味関心あるテーマを見つけていくことを目標に、いろいろな論文を読んだり実験を行ったりしてきました。何か「やってみたい」「考えてみたい」と思えるテーマに出会うことができていると、それをどんどん掘り下げていけるといいと思います。また、実験にも協力してくださりありがとうございました。身体の反応が数値化されるのはおもしろい、と興味を持ってもらえたら嬉しいです。
ゼミナール (論理的判断とコミュニケーション)	井口 眞美	みなさん、チームワークよく、頑張ったと感心しています。来年度は、卒業論文がメインとなります。自分が関心をもったテーマについて、じっくり調査し、時間をかけて考えることが求められます。来年度もみんな協力しながら、進めていきましょう。応援しています。
ゼミナール (論理的判断とコミュニケーション)	大澤 朋子	1年間の受講おつかれさまでした。卒論のテーマは見つかったでしょうか? 4月からの卒論ゼミもがんばりましょう。
ゼミナール (論理的判断とコミュニケーション)	塩川 宏郷	自閉症、思春期、面接というテーマで書籍を輪読しました。専門書を読むことをいとわずにこれからも学習を続けてください。
家族と生涯発達各論 a (乳幼児・児童期)	長崎 勤	最近のトピックスを入れたためにシラバス通りに進まなかった面がありますが、現代の様々な家族の問題に関心を持ってもらえればと思います。
家族と生涯発達総論	笠原 良太	基礎的内容で退屈だったかもしれないが、なるべく映像資料を活用して興味を持ってもらえるように努力した甲斐があった。次年度は、一つ一つの単元をより理解できるように時間をかけて講義したい。
家庭経営論 2	高橋 桂子	エクセルが苦手な方が多い中、14回、よく頑張ってくれました。友達との授業を通じた交流も増えたのではないかと思います。時には厳しい指導でしたが、自身の成長も実感されたのではないかと思います。14回すべてのレポートを評価しました、コメントは皆さんの財産です。引き続き、頑張ってください。
学習・言語心理学	長崎 勤	最近のトピックスを入れたためにシラバス通りに進まなかった面がありますが、現代の様々な学習・言語の問題に関心を持ってもらえればと思います。
看護学	小川 敬子	87名中70%の方がアンケートに回答くださり感謝申し上げます。マイクを通さない声が聴きづらいことがあった、穴埋め問題を増やしてほしいとのご意見がありました。穴埋め問題を工夫しポイントを分かり易くしたり、演習中はピンマイクを使用するなど皆様の声を活かしていきたいと思えます。履修生が多すぎ、期待していただけに意欲向上につながらず残念だったとの声がありました。履修人数の配分等可能であるか教務と相談したいと思えます。皆様の感想として、命を大切にすること、命に対する考え方が変わり、より真剣に向き合うようになったこと、健康や自分のことに目を向けられるようになったこと、生活に看護学で学び得たことを活かしたいなどの声が寄せられておりました。とても嬉しく思います。
看護学	小川 敬子	アンケート対象者37名に対し、32.4パーセントと低めの回答率でしたが、回答いただいた方に改めて感謝いたします。特に要望としては、記載がありませんでした。感想としては、客観的に自身の状態を考えられるようになった、身体の仕組みやどうすれば命が守られるか考えられるようになった、健康管理や健康な生活の大切さについて理解が出来た等が挙げられておりました。また、演習により、体験して楽しみながら理解を深められたとの記述もありました。今後も体験学習及び双方向授業を意識し、楽しく関心を持って学んでもらえるよう工夫していきたいと思えます。
基礎演習 1 (言語表現とコミュニケーション)	井上 陽童	おおむね積極的に取り組んでいる学生さんが多く、大変やりやすかった。スライドが見えにくい等のご意見も率直にいただき、出来る限り改善したつもりである。いただいたご意見を、来年度以降に活かしていきたい。

[2023 (後期) 生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
基礎演習1 (言語表現とコミュニケーション)	田中 正浩	回答結果の分析を通してしっかりと改善すべきことがあると感じている。授業者としては、双方向的な授業になるように努め、配付資料等において工夫し、なによりも受講者の授業内容への理解度が高まるようにしていきたい。
教育制度論	田中 正浩	平均値を下回る評価項目について見直し、重点を置きながら授業を構想、実践していきたい。とくに、双方向的な授業になるように努め、板書や配付資料等において受講生の目線で工夫し、授業内容への理解度がより高まることをめざしていきたい。
教育方法・技術	井上 陽童	おおむね積極的に取り組んでいる学生さんが多く、大変やりやすかった。今後も、教育現場で活かせる方法・技術の習得に資する講義を実施していきたい。
教職実践演習 (幼・小)	田中 正浩 井上 陽童	教職科目の総まとめに位置付けられている講義であった。そのため、4年間の学びを振り返りつつ、今後に活かせる内容にしたつもりである。意欲的に学んでいた様子が分かり、嬉しく思う。
健康科学概論	塩川 宏郷	学習意欲をもって取り組んでください。各自で授業受講態度を改めて見直し、この授業への積極的な受講を期待します。
国語	井上 陽童	学生の皆さんが大変意欲的に取り組んでくれたので、嬉しく思いました。言葉の学びを体系立てて学んでいけるように、来年度以降のカリキュラムをより工夫していきたいと思えます。
子どもと言葉	野尻 美枝	実務経験を活かして実演をすることで、より分かりやすかったとのコメントを多くいただきました。今後も理論と実践の両方をバランスよく授業に取り入れていこうと思います。
子どもの健康と安全	塩川 宏郷	演習形式で子どもの保健で学んだ知識を応用する内容を取り入れました。特に、問題行動、危険な行動に対する対応や感染症、食物アレルギーの対応については重要ですので、配布資料を見直してください。
子どもの理解と援助	野尻 美枝	概ね本科目の理解に繋がっていたようです。パワーポイントについては、本館教室の使用では見づらいと判断をし、後期中で教室変更をして学修環境に配慮しました。次年度の課題にしたいと思います。
子ども家庭福祉	大澤 朋子	半年間の受講おつかれさまでした。子ども家庭福祉は法改正の多い分野です。重要な変更については今後他の科目でも紹介していきます。
子ども理解とカウンセリング	塚原 拓馬	回答者数が少数であったため、今後は積極的な回答を促していきたいと思う。受講生の特性にあった難易度に調整をして授業を進めて行けるよう努めていきたい。
児童教育法	井上 陽童	通年で、幅のある学修内容を学ぶことができる本講義は、学生の皆さんにとって貴重だと感じました。今年度の経験を活かし、来年度以降、より体系立てた学修になるようカリキュラムを工夫して取り組んでいきたいと思えます。
社会心理学1 (社会・集団・家族心理学a)	水野 いずみ	体験や演習に積極的に取り組んでいました。次年度の授業に活用させていただきます。
社会福祉	大澤 朋子	半年間の受講お疲れさまでした。扱う範囲が広いので、資料が多くなりがちでしたが、わかりにくいところもあったようです。図などは別途データで配信するようにします。
初等教科教育法 (体育)	島崎 あかね	幼小コースの授業なので、履修人数の関係から実技の「指導法」を体験的に学ぶのは難しい部分もありますが、皆さんが積極的に授業に取り組む学びを深めてくれたのではないかと思います。体育の実技は「できた・できない」が他者に公開されてしまう科目なので、どうしても苦手な子どももいます。そういった子どもへのフォローをどのようにしたらいいか、という点も含めて、指導案の作成では場や子どもたちの姿を想定することの難しさを感じたと思いますが、『生きる力』を育むことの重要性和伝えることの難しさを理解し、自らが身体を動かすことでこの難しさに対峙してもらえたらと思っています。子どもたちが安全に楽しく実技の授業に取り組めるような指導を目指していきたいです。
心理学研究法入門2 (心理学統計法)	中山 友則 作田 由衣子	統計の授業だったので、苦勞された方が多かったのではないかと思います。それでも「統計の知識が身についた」などポジティブなコメントが多く見られました。これからも、実験や調査を行って卒論を書く上ではとても大事な知識になりますので、ぜひ統計の勉強は続けてもらえたらと思います。
心理検査法2 (心理的アセスメントb)	長崎 勤	何のために検査をするのかという心理検査の意味、またのその責任と倫理について関心を持ってもらえればと思います。
心理調査法2	水野 いずみ	毎回の授業や予復習に着実に取り組んでいました。今後の授業に活用させていただきます。
生涯発達心理学b	塚原 拓馬	総合満足度など概ね高評価を頂くことができました。授業運営は常に向上できるように努めていきたいと思う。
生涯発達心理学演習b	塚原 拓馬	回答者がいなかったため、今後は積極的な回答を促していきたい。授業時の感想等では有意義な体験学習であったとコメント頂いているため、今後も継続していきたい。

[2023 (後期) 生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
生活の科学	橘 弘志 水野 いずみ 大川 知子 白尾 美佳 塩川 宏郷	生活の医学では、医学の歴史や身近な風邪薬・感染症についての基礎的な内容を提示しました。専攻に関係なく知っておいていただきたい基礎的な知識なので折に触れて資料を再読してください。
生活経済論	高橋 桂子	口頭試験を通して、自分の言葉でわかりやすく相手に説明することの難しさ、重要さを認識してくださったようですね。大学までの教育機関では、教員が皆さんの発言を理解しようとはしますが、社会人になると、なかなかそうはいきません。自分が言いたいことが相手にきちんと伝わるのか。何を言いたいのか整理することは大事ですね。
生活心理フィールドワーク 1	水野 いずみ	大変な授業だったと思いますが、熱心に取り組んで力をつけ、成長している様子がうかがえました。次年度の授業に活かさせていただきます。
生活心理フィールドワーク 2	水野 いずみ 塚原 拓馬 作田 由衣子	意欲的に取り組み、インタビュー調査の流れなどを理解できた方が多かったようです。この授業で行った調べ学習や、インタビューの基本などは今後のゼミでの研究や、就職活動などでも活用してみてください。
生活心理概論	塚原 拓馬 作田 由衣子	調査方法についての知識が身についた、考える力が付いたなどのコメントが見られました。ぜひ今後の学びにも生かしてもらえればと思います。
生活心理研究計画法	水野 いずみ	様々な困難があるなか、自分の力で道を切り開いていく姿がうかがえました。後輩への気遣いも有難く思いました。今後の指導に活かさせていただきます。
生活文化史 2	笠原 良太	資料を用いたグループワークは好評のようだったが、準備の時間が短かったため、十分な学習効果がなかった。次年度は1日あたりの報告数を減らしたり、準備期間を長くするなど工夫する。
精神疾患とその治療	塩川 宏郷	精神症状のとらえかたに力を入れて講義しました。疾患に対する知識や、薬物療法のありかたなどを理解してもらいたいと思いますが、なによりも精神症状の現れ方、評価のしかた、問診の大切さを重視してください。
男女共同参画社会と生活	笠原 良太	校外学習（インタビュー調査）を中心に、受講生が積極的に取り組んでくれた。次年度は同様の調査に加えて、ジェンダーに関する基本的な理解度を高め、調査結果の一般化・普遍化を行いたい。
知覚・認知心理学 a	作田 由衣子	知覚や認知についての知識が身についたなどポジティブなコメントが多く見られました。毎回、なるべく質問に答えるようにはしていますが、どうしてもすべての質問には答えられないので、もし疑問などがあればぜひ授業の後などに遠慮なく聞きに来てもらえればと思います。試験のときは時計を持参しましょう。
道徳の指導法	田中 正浩	全体として良好な評価を得てはいるが、授業を進めるスピードについて受講生の目線で見直す必要があると感じている。受講生にとって満足度の高い、自身の成長を実感できる授業をめざし、さらに改善していきたい。
特別活動の指導法	井上 陽童	学生の皆さんが大変意欲的に取り組んでくれたので、嬉しく思いました。今年度の経験を活かして、来年度以降は、もう少し体系立ててカリキュラムを組んでいきたいと思っています。
保育・教育指導の基礎	井口 眞美 大澤 朋子 井上 陽童 野尻 美枝	幼稚園、保育所、小学校、児童館、こどもまつりと様々な場所へ行き、子どもたちとの実際の関わりを学んだことと思います。来年度は、更に、子どもたちに適した保育教材を考えたり、子どもたちに見せたりする機会があります。実践的な学びを通して、保育・教育職の楽しさを感じながら、専門性を高めていきましょう。
保育・教育指導の実際	井口 眞美 大澤 朋子 井上 陽童 野尻 美枝	保育所、小学校、幼稚園等、現場でしか得られない学びもたくさんあったことと思います。特に、後期は、幼稚園でエプロンシアターを演じたり、こどもまつりで遊びの企画・運営をしたりと、新たな経験もしました。この学びを来年度の本実習につなげてください。応援しています。
保育・教職実践演習（幼稚園）	田中 正浩 井口 眞美	大学最後のチームプレーは楽しめましたか。参加した子どもたちや保護者の方々も、みなさんが尽力したクリスマス会を心から楽しんだことと思います。保育職は、生涯学び続ける必要があります。学び続け、実践力を高めることを楽しめる保育者となってください。
保育学	井口 眞美	具体的な映像や話を中心に講義を進めてきました。また、最後の実習では子どもと実際に関わり、新たな気づきもあったことと思います。これからは保育や子どもに関心をもち続けてください。ボランティアや卒論の相談もいつでもどうぞ。
保育学演習	野尻 美枝	履修者の皆さんが、概ね積極的に本科目へ取り組んでいました。調べ学習やプレゼンテーション力も培えたのではないかと思います。
保育活動の実際c	小坂 光	音楽の保育技術向上のための活動や講義において、みなさん熱心に取り組んでいる様子が見受けられました。授業内でもお伝えしましたが、今後「弾き歌い」を個別で見る授業はありませんが、実習や卒業後に保育者として必ず必要になる技術ですので、自分でしっかりと取り組んでいきましょう。必要な場合はレッスンの予約を個別にとってください。また、2年生では「表現」に関する授業を行いますので、引き続き子どもと「表現」の関わりについてしっかり考えていきましょう。

[2023 (後期) 生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
保育実習指導 1	松井 利恵	1年間の受講おつかれさまでした。 実習後の相互の学び合いが深まったようです。 次年度の実習と事前事後学習に活かしていきましょう。
保育実習指導 2	大澤 朋子 野尻 美枝	集大成の実習おつかれさまでした。卒業後は実習指導者として実習生に関わることもあると思います。学んできたことを活用してください。
幼児教育法	井口 眞美	模擬授業等、幼稚園実習の準備として、実践的な内容を中心として進めてきました。実習の具体的なイメージをもつことができたでしょうか。 準備をすることで不安も軽減されます。 2月の幼小コース実習、6月の幼保コース実習共に頑張ってください。